

学園だより



第63号

東京都社会福祉事業団

発行 東京都船形学園

令和5年2月15日発行

成人式



成人おめでとうございます！



おかえりなさい！

船形学園も2023年の正月を無事に迎えることができました。毎年恒例の『卒園生を囲む会』が元日に行われました。ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響で、卒園生の方たちは学園との行き来に規制が多く、会いたいときに容易に会うことができない現状ですが、やや緩和された今年のお正月は、感染予防を最重要に考えた、今までは少し変わった囲む会となりました。

「ただいま」「おひさしぶりです」と、元氣な顔を見せてくれた卒園生たち。

あのころとは少し違って、大人らしい逞しさも感じる姿です。

園長先生をはじめ職員から「お帰り、ここはいつでも皆さんの家です」と、卒園生の思い出話を含めた温かい言葉がたくさん向けられ、卒園生たちはホッとするような笑顔を見せてくれました。「ちゃんと食べてるか？」「仕事頑張ってるか？」「身体は大丈夫か？」と卒園生たちに言葉を次々にかける職員の姿はいつでもでもぜんぜん変わりません。

皆で乾杯をした後は楽しく食事し、ビンゴゲームを楽しみ、笑顔あふれる囲む会となりました。

そして八日(日)、今年度20歳になった卒園生四名が館山市の式典に参加するために来園しました。素敵なお衣装・和装姿の卒園生たちに、職員たちは感慨深く見つめお祝いの言葉をかけていました。

「先生行ってくるねー」と、そのあとはあのころのように、学園を卒業する20歳の卒園生たちでした。

また、十三日(金)の夕方には、卒園生の方が自身の体験談を在園する中高生たちにお話ししてくださる会がありました。

お忙しい中、お話ししてくださった卒園生の皆さま、本当にありがとうございました。

話を聞いた中高生たちは、また今まではなかった将来のイメージや夢を抱いたに違いありません。

学園を巣立った皆さんも、今学園で育っている子どもたちも、いつまでもずっと繋がっています。

広報担当

卒園生体験談



流星群鑑賞会

多くの流れ星を見ることが出来る三大流星群の一つに、十二月の「ふたご座流星群」があります。学園近隣の小学生と保護者の方でも参加してください。当日は好天に恵まれ、思い思いに夜空を見上げます。

ほとんどの流れ星はさっと一掃けくらないので、「あ、流れた」

「え、見えなかった」と明暗が分かれることの繰り返しです。そのような中で幸運にもひときわ大きな流れ星(火球)があり、十秒近く残光が夜空に張りついでいて、その場にいたみんなと同じ流れ星を見ることが出来ました。

今年度はふれあい祭が二度にわたって悪天候で中止となりましたが、地域の方々と体験を共有できる機会を今後も企画していきたいと考えています。



担当

子どもと一緒にいった研修

十一月、CAPワークショップを行いました。講師の方々の劇を見て考えたり話し合ったりしながら、「安心・自信・自由」の権利について学びました。

十二月、地元で助産院をされている助産師さんを講師に迎え、小学生を対象に性(生)教育の学習会を行いました。小さな受精卵からお母さんのお腹の中で大きくなって生まれてくるまでを、一か月ごとの大きさと重さの人形を見て抱いて、自分もこうして生まれてきたのだと知ることができました。



みんな真剣に聞いていました！



担当

ボランティアさん募集！

あなたの趣味や特技を活かしてみませんか？船形学園ではボランティアさんを募集しています。現在は新型コロナウイルスの感染拡大により休止していますが、感染状況が改善され次第、再開する予定です。

ボランティア活動に興味、関心がある方はぜひ学園のボランティア担当までご連絡ください。

編集後記

早いもので令和五年も二か月が過ぎようとしています。

皆様には日頃よりご支援、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルスも収束せず、インフルエンザも流行している中ではありますが、児童、職員一同、感染対策を徹底しながら様々な行事を行うことが出来たように感じます。今後も、制限がある中での過ごし方について模索していきたいと考えております。

この号に関するお問い合わせは、船形学園広報担当までお願いします。

編集担当

船形学園の近況は
ブログでも発信しています
(こちらのQRコードから)



学園だより 「さざなみ」第63号
発行年月日 令和5年2月15日発行
編集・発行 東京都船形学園
千葉県館山市船形1377
電話 0470-27-2921
ホームページ
jigyodan.org/funakata-gakuen/

地元館山を知る旅

小学生横割り外出

十一月五日。天気は晴れ。風気持ち良い。そんな中、館山スタンブラーとジビエバーベキューを実施しました。本来は宿泊で行く予定でしたが、コロナの関係で縮小して実施することになりました。

外出当日、子どもたちは車で館山付近にはよく行くものの、実際に踏切を初めて渡ったり、いつも食べているパン屋さんの場所を知らなかったり、新しい発見がたくさんありました。



ジビエ BBQ
おいしそうですね！



担当

お正月お楽しみ旅行

年明け一月三日に正月お楽しみ旅行に出かけてきました。今年度の行先は富士急ハイランド。数ある子供たちの希望場所の一つであったこと、学齢の幅が広いことから年齢に左右されず楽しめる場所と思い、選定しました。

迎えた当日、まだうす暗い中バスに乗り出発。ガイドさんの紹介を受けながらアクアライン、首都高、中央道を進んでいきます。特に富士山を見たときは圧巻。子供たちの「でっかー！」の声が印象的です。

富士急ハイランドに着き、安全確保と感染対策の観点から小グループに分かれての行動を開始。それぞれ趣向にあったアトラクションを楽しみました。その後、夕方前には出発し、帰りながら焼肉食べ放題に寄って帰園。事前の渋滞予測にも全く当たることなく、計画通りに進みました。

次年度はどのような場所か、どのような思い出を作れるか。子供たちにも協力してもらいながら、一緒に考えていきたいです。

担当



中学生横割り外出

十月二九日～十月三十日で中学生横割り活動を実施しました。今年度は奥多摩の方まで行ってきました。

一日目はマス釣りをを行い、釣ったマスを夕飯時に焼いて頂きました。中には魚釣りが初めてな子もいましたが、釣れたことに喜び子どもたち。夕飯は焼きそば、フランクフルト、お肉と協力してみんなで作る姿が見られました。日頃釣った魚を焼いて食べることもないため、美味しい美味しいと喜んで食べていました。

二日目は、ラフティング！ラフティングを行う前は不安な声もありましたが・・・やってみたら、ものすごく楽しそうにしている子どもたち。寒い中ではありましたが、寒さなんかには負けず、寒さを忘れるくらい子どもたちは楽しそうな表情をしていました！

コロナ禍で行事がなくなったり、我慢すること多い中ですが、無事に実施することができ、子どもたちは子ども同士で協力し合いながら、思いっきり楽しんでいる姿が見られました。貴重な体験もでき、とてもよい思い出となる横割り活動になったと思います。

担当



マス釣り



ラフティング

冬のスキー体験

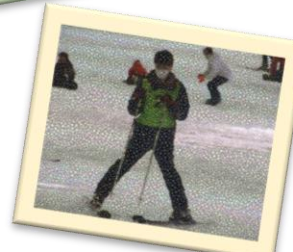
高校生会横割り活動

一月五日に高校生と埼玉県にある狭山スキー場に行きスキーをしました。高校生全員スキーをした経験はありません。

始めは、男女に分かれスキー講習を受けました。スキーの板のつけ方から滑り方や止まり方など教えてもらいました。なかなか上手いかず苦戦している子ども達でしたが、諦めることなく最後まで挑戦している姿が見られました。講習後は、各自自由に滑りました。疲れたと言いつつもう子どももいましたが、「スキーにハマった。」と言いつつ時間ギリギリまで滑り続けている子どももいました。最後のほうは、思いうる作ると言い頂上から滑ることに挑戦している子どももいて楽しんでいる様子が見られました。

今回の横割り活動では、皆が初めてスキーを体験することができ、良い思い出を作ることができたと思います。将来、今回の活動を思い出して「山に滑りに行きたい！」と思ってもらえたら嬉しいなと思います。

担当



秋～冬の行事スナッフ

